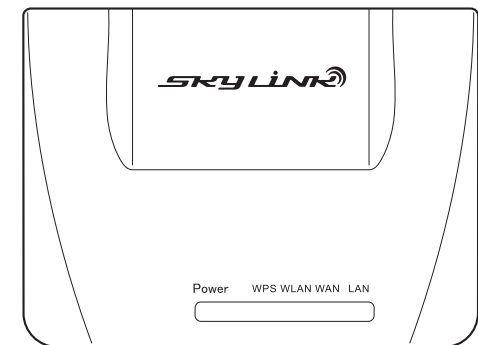
Wireless Access Point

IEEE802.11n/11g/11b 準拠 無線LAN アクセスポイント

LAN-W150N/AP

User's Manual

このマニュアルは、別冊の「かんたんセットアップガイド」と
あわせてお読みください。

●このマニュアルで使われている用語

このマニュアルでは、一部の表記を除いて以下の用語を使用しています。

用　語	意　味
本製品	無線LANアクセスポイント「LAN-W150N/AP」を「本製品」と表記しています。
11n	IEEE802.11n規格を「11n」、IEEE802.11g規格を「11g」、IEEE802.11b規格を「11b」と省略して表記している場合があります。
G-Next	IEEE802.11nの技術を使い、11n準拠のアダプタとの間で最大150Mbpsの高速転送を実現した、ロジテックのオリジナル技術を「G-Next」と表記しています。
無線AP	無線LANアクセスポイントを略して「無線AP」と表記しています。
無線親機	無線ルータと無線APをあわせて「無線親機」と表記しています。
無線子機	PCカードタイプの無線LANカード、無線LAN USBアダプタの総称である「無線LANアダプタ」を略して「無線子機」と表記しています。
無線クライアント	無線子機や情報端末、無線機能を持ったパソコンなど、無線親機に接続する無線機器を総称して「無線クライアント」と表記しています。
有線クライアント	有線LANアダプタ（イーサネットアダプタ）を持ったパソコンのことを「有線クライアント」と表記しています。

●このマニュアルで使われている記号

記　号	意　味
注 意	作業上および操作上で特に注意していただきたいことを説明しています。この注意事項を守らないと、けがや故障、火災などの原因になることがあります。注意してください。
	説明の補足事項や知っておくと便利なことを説明しています。

ご注意

- ●本製品の仕様および価格は、製品の改良等により予告なしに変更する場合があります。
- ●本製品に付随するドライバ、ソフトウェア等を逆アセンブル、逆コンパイルまたはその他リバースエンジニアリングすること、弊社に無断でホームページ、FTPサイトに登録するなどの行為を禁止させていただきます。
- ●このマニュアルの著作権は、ロジテック株式会社が所有しています。
- ●このマニュアルの内容の一部または全部を無断で複製/転載することを禁止させていただきます。
- ●このマニュアルの内容に関しては、製品の改良のため予告なしに変更する場合があります。
- ●このマニュアルの内容に関しては、万全を期しておりますが、万一ご不審な点がございましたら、弊社テクニカル・サポートまでご連絡ください。
- ●本製品の日本国外での使用は禁じられています。ご利用いただけません。日本国外での使用による結果について弊社は、一切の責任を負いません。また本製品について海外での（海外からの）保守、サポートは行っておりません。
- ●本製品を使用した結果によるお客様のデータの消失、破損など他への影響につきましては、上記にかかわらず責任は負いかねますのでご了承ください。重要なデータについてはあらかじめバックアップするようにお願いいたします。
- ●Microsoft、Windows Vista、Windowsは米国Microsoft Corporationの登録商標です。そのほか、このマニュアルに掲載されている商品名/社名などは、一般に各社の商標ならびに登録商標です。本文中における®およびTMは省略させていただきました。

IEEE802.11n/11g/11b準拠 無線LANアクセスポイント

LAN-W150N/AP

User's Manual

ユーザーズマニュアル

はじめに

この度は、ロジテックの無線LANアクセスポイントをお買い上げいただき誠にありがとうございます。このマニュアルには無線LANアクセスポイントを使用するにあたっての手順や設定方法が説明されています。また、お客様が無線LANアクセスポイントを安全に扱っていただくための注意事項が記載されています。導入作業を始める前に、必ずこのマニュアルをお読みになり、安全に導入作業をおこなって製品を使用するようにしてください。

このマニュアルは、製品の導入後も大切に保管しておいてください。

安全にお使いいただくために

けがや故障、火災などを防ぐために、ここで説明している注意事項を必ずお読みください。

⚠ 警　告	**この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などによる死亡や大けがなど人身事故の原因になります。**
⚠ 注　意	**この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり、他の機器に損害を与えたりすることがあります。**

⚠ 警　告

本製品の分解、改造、修理をご自分でおこなわないでください。
火災や感電、故障の原因になります。また、故障時の保証の対象外となります。

本製品から発煙や異臭がしたときは、直ちに使用を中止したうえで電源を切り、ACコンセントから電源プラグを抜いてください。そのあと、ご購入店もしくは当社テクニカル・サポートまでご連絡ください。
そのまま使用すると、火災や感電、故障の原因になります。

本製品に水などの液体や異物が入った場合は、直ちに使用を中止したうえで電源を切り、ACコンセントから電源プラグを抜いてください。そのあと、ご購入店もしくは当社テクニカル・サポートまでご連絡ください。
そのまま使用すると、火災や感電、故障の原因になります。

本製品を、水を使う場所や湿気の多いところで使用しないでください。
火災や感電、故障の原因になります。

⚠ 注　意

本製品を次のようなところで使用しないでください。
・高温または多湿なところ、結露を起こすようなところ
・直射日光のあたるところ
・平坦でないところ、土台が安定していないところ、振動の発生するところ
・静電気の発生するところ、火気の周辺

長期間本製品を使用しないときは、電源プラグを抜いておいてください。
故障の原因になります。

無線LANをご使用になるにあたってのご注意

●無線LANは無線によりデータを送受信するため盗聴や不正なアクセスを受ける恐れがあります。無線LANをご使用になるにあたってはその危険性を十分に理解したうえ、データの安全を確保するためセキュリティ設定をおこなってください。また、個人データなどの重要な情報は有線LANを使うこともセキュリティ対策として重要な手段です。

●本製品は電波法に基づき、特定無線設備の認証を受けておりますので免許を申請する必要はありません。ただし、以下のことは絶対におこなわないようにお願いします。

・本製品を分解したり、改造すること
・本製品の背面に貼り付けてある認証ラベルをはがしたり、改ざん等の行為をすること
・本製品を日本国外で使用すること

これらのことに違反しますと法律により罰せられることがあります。

●心臓ペースメーカーを使用している人の近く、医療機器の近くなどで本製品を含む無線LANシステムをご使用にならないでください。心臓ペースメーカーや医療機器に影響を与え、最悪の場合、生命に危険を及ぼす恐れがあります。

●電子レンジの近くで本製品を使用すると無線LANの通信に影響を及ぼすことがあります。

もくじ

Chapter 1

概要編

1 製品の保証について

製品の保証とサービス

本製品には保証書が付いています。内容をお確かめの上、大切に保管してください。

●保証期間

保証期間はお買い上げの日より1年間です。保証期間を過ぎての修理は有料になります。詳細については保証書をご覧ください。保証期間中のサービスについてのご相談は、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

●保証範囲

次のような場合は、弊社は保証の責任を負いかねますのでご注意ください。

・弊社の責任によらない製品の破損、または改造による故障
・本製品をお使いになって生じたデータの消失、または破損
・本製品をお使いになって生じたいかなる結果および、直接的、間接的なシステム、機器およびその他の異常

詳しい保証規定につきましては、保証書に記載された保証規定をお確かめください。

●その他のご質問などに関して

P9「2. サポートサービスについて」をお読みください。

2 サポートサービスについて

下記のロジテック・テクニカルサポートへお電話またはFAXでご連絡ください。サポート情報、製品情報につきましては、インターネットでも提供しております。

ロジテック ホームページ　http://www.logitec.co.jp/

ロジテック・テクニカルサポート（ナビダイヤル）
TEL：0570-050-060　　FAX：0570-033-034

受付時間：月曜日～金曜日 9:00～19:00　※FAXによる受付は24時間対応しております。
（ただし、夏期、年末年始の特定休業日、祝日は除きます）

本製品は日本国内仕様です。海外での使用に関しては弊社ではいかなる責任も負いかねます。
また弊社では海外使用に関する、いかなるサービス、サポートも行っておりません。

●テクニカルサポートにお電話、FAXされる前に

お手数ですが、テクニカルサポートにお電話される前に、次の項目について確認してください。

◆お電話される前に、パソコンを起動できる場合は、起動した状態でお電話ください。
◆対象製品が取り付けられたパソコンの前から会話が可能な場合は、パソコンの前からお電話をおかけください。実際に操作しながらチェックできますので、解決しやすくなります。
◆FAXを送られる場合は、詳しい内容を書いた書面を添えて送付いただくと解決しやすくなります。

お調べいただきたい内容

◆ネットワーク構成
・使用しているネットワークアダプタ　・使用しているOS
・使用しているパソコンのメーカおよび型番
・ネットワークを構成するパソコンの台数とOSの構成
・ネットワークを構成するその他の関連機器（ハブ、ルータなど）
◆具体的な現象、事前にお客様が試みられた事項（あればお伝えください）

3 本製品の概要について

本製品の特長

●USB電源で動作する無線AP
家庭用コンセントの替わりに、USBポートから電源の供給を受けることができる無線AP（無線LANアクセスポイント）です。USB電源供給ACアダプタやUSBハブなど、本製品とUSBポートを専用のUSB電源ケーブルでつなぐことで使用できます。専用のACアダプタが不要なうえ、他のUSB充電対応機器のUSB電源供給ACアダプタを共有することもできます。

●スリムでコンパクト、モバイルに最適！専用ポーチも付属
軽量で常に持ち歩いても気になりません。また、アンテナを内蔵したスリムでコンパクトな本体は、かばんに入れても邪魔になりません。本体とUSB電源ケーブルをまとめて収納できる専用のポーチも付属し、出張の多いビジネスマンなど、外出先でインターネットを無線化したいモバイルユーザーにぴったりです。

●IEEE802.11n準拠で最大150Mbps（理論値）の無線AP
IEEE802.11nに準拠し、無線LANで最大150Mbps（理論値）という高速なデータ通信が可能です。従来のIEEE802.11gの54Mbpsに比べ倍以上の転送速度を誇ります。伝送距離も長く、幅広い環境で安定した通信が可能です。

●ケーブルでつなぐ、クライアントから接続する、2つのステップで接続完了！
とにかく簡単につながります。①ルータやホテルの客室に用意されたLANポートに本製品を接続し、②無線クライアントから本製品のSSIDを選択するだけで、接続作業が完了します。無線LAN設定はもちろん、ボタンを押すといった操作も不要です。

●ボタンひとつで設定が完了する「WPS」機能にも対応
ボタンを押すだけで本製品と無線クライアントが接続できる「WPS」機能に対応しています。セキュリティ設定が必要な場合でも、1度本製品に設定すれば、WPSボタンを押すだけで無線クライアントと接続できます。「PIN方式」での設定も可能です。

●各種無線セキュリティ機能に対応
本製品の設定ユーティリティを使用することで、WEP（64bit/128bit）/WPA-PSK（TKIP）/WPA2-PSK（AES）に対応します。WPAでは、暗号キーを一定時間ごとに自動的に変更しますので、外部からの不正解読が非常に困難な高いセキュリティをもつ暗号化方式です。また、発信するSSIDを無線クライアント側で表示されないようにするブロードキャストSSID機能、無線クライアントのMACアドレスを指定してアクセスを制限するアクセスコントロール機能などを搭載しています。

●Webブラウザベースの設定ユーティリティを搭載
本製品の設定は、クライアントパソコンのWebブラウザ上から、本体に内蔵されたWebベースの設定ユーティリティを起動しておこないます。Webブラウザからの解りやすいメニューで操作できます。インターネット経由でのアクセスも可能です。

本製品の動作環境

弊社では以下の環境のみサポートしています。

対応機種およびOS	Windows 7/Vista、Windows XP/2000/Me/98SEを搭載するWindowsマシン Mac OS X（10.4～10.6）をインストールしたIntel製CPUを搭載したMac
対応ブラウザ （Web設定ユーティリティ）	Internet Explorer 5.5以降

4 各部の名称とはたらき

上面

背面

番号	名称	はたらき
①	Powerランプ（緑色）	点灯：本製品の電源が入った状態です。
②	WPSランプ（緑色）	点滅：WPS機能が動作中です（約2分で消灯します）。 消灯：WPS機能を使用していません。
③	WLANランプ（緑色）	点滅：無線LAN機能を使用中です（電波を発信しています）。
④	WANランプ（緑色）	点灯：ルータ側とのリンクが確立しています。 点滅：データ転送中です。　消灯：未接続の状態です。
⑤	LANランプ（緑色）	パソコンと有線LANで接続しているときに点灯または点滅します。 点灯：パソコンとリンクが確立しています。 点滅：データ転送中です。　消灯：未接続の状態です。
⑥	Resetボタン	このボタンを5秒以上押し続けると、Powerランプが点滅し、本製品の設定値が初期化されます（工場出荷時の状態に戻ります）。Powerランプが点滅している状態では、電源を切らないでください。

番号	名称	はたらき
⑦	LANポート	有線LANに対応したパソコンを接続する場合や、本製品の詳細な設定を行う際にパソコンをLANケーブル（別売）で接続します。
⑧	WANポート	本製品とルータを付属品のLANケーブルで接続するポートです。
⑨	電源ジャック（DC IN）	本製品に付属のUSB電源ケーブルを使って、このジャックとパソコンやUSBハブのUSBポートと接続することで、本製品に電源を供給します。 1ポートあたり500mA以上の電源を供給できるUSBポートに接続してください。
⑩	WPS設定ボタン	WPS機能搭載の無線クライアント（無線アダプタなど）と接続するときに使用します。 2秒以上押して離すとWPSランプが点滅し、WPS機能がはたらきます。

5 設定ユーティリティについて

本製品の各種設定をするために、Webブラウザから利用できる設定ユーティリティがあります。ここでは設定ユーティリティのメニュー項目の構成について説明します。各メニュー項目の詳しい内容や設定方法については、該当ページをお読みください。

●設定ユーティリティを使用するには

設定ユーティリティをパソコンのWebブラウザで表示するには、本製品とパソコンを有線LANで接続するか、無線LANでパソコンから本製品にアクセスできるようになっている必要があります。

●設定ユーティリティの表示方法

P20「設定ユーティリティを表示する」をお読みください。

メニュー項目	内容
機器のステータス	機器の状態を表示します。(→P33)
無線設定	無線LANに関する設定をします。さらに以下のメニュー項目に分けられます。 ・基本設定(→P34)　・上級者向け設定(→P36) ・セキュリティ設定(→P40)　・アクセスコントロール(→P37) ・WPS設定(→P39)
有線設定	有線LANに関する設定をします。(→P47)
ログ	ログデータを保存することができます。システムログと無線ログを保存することができます。(→P48)
統計	無線LANで送受信するパケット数を表示します。(→P49)
ファームウェア更新	本製品のファームウェアを更新することができます。(→P50)
設定保存/読込	設定内容をファイルとしてバックアップしたり、バックアップした設定ファイルを読み込んだりできます。(→P51)
パスワード設定	本製品のログインパスワードを設定/変更できます。(→P53)
ログアウト	現在のログインユーザからログアウトします。(→P54)

Chapter 2

導 入 編

本製品の導入方法について

本製品は、有線LANポートに接続することで簡単に無線化し、無線機能に対応したパソコンと通信することを前提としております。本製品を初期設定のまま無線LANに接続する手順については、本製品に添付の別紙「セットアップガイド」をお読みください。導入編は、WPS機能または手動設定により、無線セキュリティを使用したい場合にお読みください。

1 本製品を接続する

本製品をルータやホテルなどに設置されたLANポートに接続します。

接続の前に

本製品をどのような機器と接続するかによって、お読みになる説明書や作業手順が異なります。下記の説明をお読みになりご確認ください。

●セキュリティ設定をしない（データを暗号化しない）場合

本製品～パソコン間で、無線LANによるデータの送受信を「暗号化しない」場合は、無線クライアント（無線機能を搭載したパソコン）にインストールされた設定ユーティリティやOS標準の無線LAN機能を使って、SSIDに「logitecuser」を選択するだけで接続できます。設定の手順については、このあとの「本製品を接続する」の作業をしたあと、P24「セキュリティ設定なしで接続する」をお読みください。

●セキュリティ設定する（データを暗号化する）場合

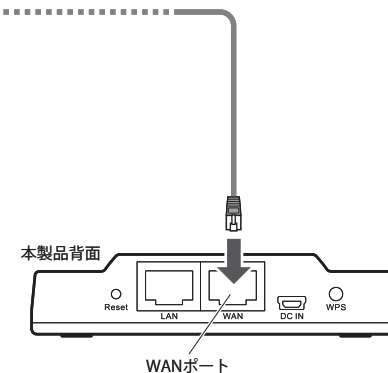
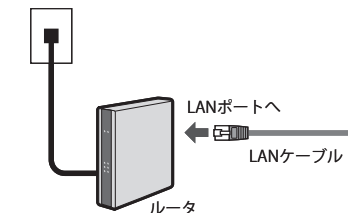
本製品～パソコン間で、無線LANによるデータの送受信を「暗号化する」場合は、本製品のセキュリティ設定で暗号化の設定をしたあと、無線クライアント（無線機能を搭載したパソコン）と接続できるように設定します。設定の手順については、このあとの「本製品を接続する」の作業をおこなう前に、P19「2.本製品のセキュリティ設定」をお読みください。

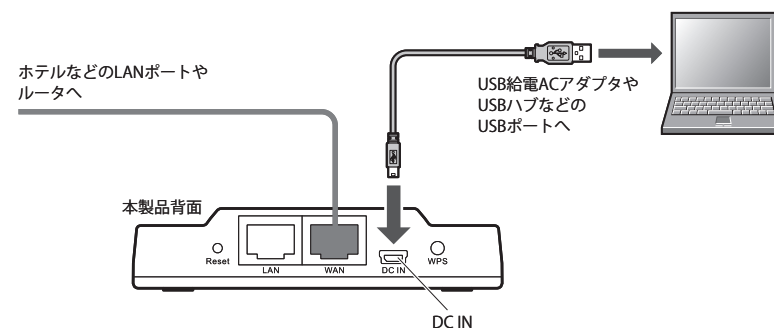
本製品を接続する

セキュリティ機能を使用する場合は、あらかじめ本製品のセキュリティ設定が必要です。先にP19「2.本製品のセキュリティ設定」をお読みください。

1 下記のイラストを参考に本製品と各機器を、付属のLANケーブルでつなぎます。

■ホテルなどの LAN ポートに接続する場合

■ルータなどの機器に接続する場合

・接続相手の機器にLANポートが2つ以上ある場合は、どのポートにつないでもかまいません。

2 本製品とパソコンなどのUSBポートを、付属のUSB給電ケーブルを使ってつなぎます。

・パソコンのUSBポート、USBハブ、USB給電アダプタなど、USB電源を供給できるものにつなぐことができます。

3 **ルータに接続している場合は、電源が入っていることを確かめます。**

・電源が入っていないときは、電源をオンにします。モデムがある場合は、モデムの電源も入れます。

4 **本製品の電源ランプなどの点灯状態を確かめます。**

・本製品のPowerランプとWANランプが点灯、WLANランプが点滅していることを確認します。

5 **以下より接続方法を選択して、次の作業へ進みます。**

セキュリティ設定なしで、接続する場合	P24「セキュリティ設定なしで接続する」へ進みます。
セキュリティ設定ありで、WPSボタンを使って接続する場合	P25「WPSボタンを使って接続する」へ進みます。
セキュリティ設定ありで、WPS機能の「PINコード」を使って接続する場合	P27「PINコードを入力して接続する」へ進みます。
セキュリティ設定ありで、手動設定で接続する場合	P29「手動設定で接続する」へ進みます。

2 本製品のセキュリティ設定

本製品は、初期値では「セキュリティなし」に設定されています。セキュリティ設定を使用する場合は、あらかじめ本製品のセキュリティ設定をおこなう必要があります。

以下の場合は、最初にパソコンのWebブラウザ(Internet Explorer等)から本製品の設定ユーティリティに接続し、設定ユーティリティ上での設定作業が必要です。

- WPS機能でセキュリティ機能を使用したい場合
- WPS機能で「PINコード」を使って設定したい場合
- WPS機能のない無線アダプタとセキュリティ付きで接続したい場合

また、本製品の現在の設定を変更したい場合にも、設定ユーティリティに接続する必要があります。

本製品の設定ユーティリティへの接続について

本製品の設定ユーティリティを使用するには、設定用のパソコンをご用意いただき、パソコンのWebブラウザからアクセスする必要があります。

●接続のポイント

・本製品のIPアドレスの初期値は「192.168.2.200」です。本製品の設定ユーティリティに接続するには、設定用パソコンからこのIPアドレスに接続できるネットワーク設定が必要です。

・設定用パソコンのIPアドレスを一時的に自動取得から手動設定に変更し、「192.168.2.101」などを割り当ててください。

IPアドレス	192.168.2.xxx(192.168.2.200を除く)※
サブネットマスク	255.255.255.0

※ルータなどIPアドレスを持つネットワーク機器がある場合、それらの機器が使用しているIPアドレスは設定しないでください。

「192.168.2.xxx」のネットワークをご使用の場合
IPアドレスが「192.168.2.xxx」をご使用のネットワークでは、設定用パソコンをご用意いただく必要はありません。ご使用中のネットワークからWebブラウザで「http://192.168.2.200」を指定して、設定ユーティリティに接続してください。

設定ユーティリティを表示する

設定用パソコンから本製品の設定ユーティリティに接続します。

本製品の設定ユーティリティに接続できる環境が必要です
本製品の設定ユーティリティには、パソコンで接続します。本製品のIP アドレスは、「192.168.2.200（初期値）」に設定されていますので、このIP アドレスに接続できる環境をご用意ください。詳しくは前項のP19「本製品の設定ユーティリティへの接続について」をお読みください。

1 本製品の電源を入れます。設定用のパソコンを起動します。

2 Internet ExplorerなどのWebブラウザを起動します。

3 Webブラウザの［アドレス］欄に、キーボードから「http://192.168.2.200」と入力し、キーボードの［Enter］キーを押します。

・認証画面が表示されます。

認証画面が表示されない場合
以下の順序で確認してみてください。
①本製品の電源が入っているか、LANケーブルの接続は正しいかを確認してください。
②いったんパソコンを終了し、本製品の電源を入れて3分以上たってからパソコンを起動してみてください。
③接続しているパソコンのIPアドレスを確認してください（→P58「2.パソコンのIPアドレスの確認方法」

4 本製品のユーザー名とパスワードを入力し、OK をクリックします。

Windows 7の場合

ユーザー名	admin	パスワード	admin

・初期値は表のとおりです。半角英数字の小文字で入力します。
・本製品の設定ユーティリティが表示されます。
・このあとは、必要に応じて該当の項目をお読みください。

不特定多数の人が利用するような環境では、第三者に設定を変更されないように、パスワードの変更をお勧めします（→P53「ユーザー名とパスワードの設定」）。

本製品のセキュリティ機能を設定する

本製品は、初期値では「セキュリティなし」に設定されています。セキュリティ機能を使用する場合は、あらかじめ本製品のセキュリティ設定をおこなってください。

本製品の設定ユーティリティに接続できる環境が必要です

セキュリティ機能を設定するには、本製品の設定ユーティリティに接続できる環境が必要になります。P19「2.本製品のセキュリティ設定」をお読みになり、必要な環境を準備してください。

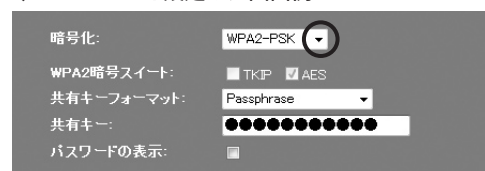
1 本製品の設定ユーティリティを表示します。

・設定ユーティリティの表示方法については、P20「設定ユーティリティを表示する」を参照してください。

2 画面左のメニューリストから[無線設定]→[セキュリティ設定]を選択し、〈セキュリティ設定〉画面を表示します。

3 [暗号化]の[▼]をクリックし、暗号化の種類を選択します。設定方法については、それぞれのセキュリティ機能の説明をお読みください。

WEP	WEPを使用します。	→P40
WPA-PSK	WPA-PSK（TKIP）を使用します。	→P44
WPA2-PSK	WPA2-PSK（AES）を使用します。	
WPA2-Mixed	WPA-PKS（TKIP）とWPA2-PSK（AES）の混在環境で使用します。	

◆WPA2-PSKを設定した画面例

WPS機能がない無線アダプタと接続する場合

無線アダプタ側の無線LAN機能を手動で設定する必要があります。本製品の以下の設定内容をメモしておきます。

SSID	
暗号化： WEPの場合	認証方式：□Open　□シェアード　□Auto キー長：□64-bit　□128-bit キーフォーマット：□Hex　□ASCII キー：[　　　　　　　　　　　　　　　　]
暗号化： WPA-PSK WPA2-PSK WPA-Mixed	WPA暗号化スイート：固定で変更できません。 共有キーフォーマット：□Passphrase　□HEX 共有キー：[　　　　　　　　　　　　　　　　]

4 設定を保存後、Webブラウザを閉じ、設定を終わります。

5 設定用パソコンと本製品を接続したLANケーブルを取り外します。

・設定用パソコンのIPアドレスは、元の設定値に戻してください。

3 無線LANで接続する

本製品に無線クライアント（無線機能搭載のパソコン）から無線LANで接続する手順を説明します。ご使用の環境にあわせてお読みください。

セキュリティ設定なしで接続する

無線クライアントから、セキュリティ設定なしで本製品に接続する場合の手順です。本製品の初期値は、「セキュリティ設定なし」です。なお、無線クライアント側の無線設定の方法については、無線クライアント側の説明書をお読みください。

セキュリティ設定なしで接続する手順については、本製品に添付の「セットアップガイド」にも説明がありますので参考にしてください。

1 本製品の電源が入っていることを確認します。

2 無線クライアントの設定ユーティリティやOS標準のワイヤレス接続を表示します。

3 無線クライアントのリストに表示された接続可能なSSIDの中から、「logitecuser」を選択し、接続操作をします。

弊社製無線アダプタの画面例

・接続方法は、無線クライアント（アダプタ等）の説明書をお読みください。

4 正しく接続できれば、設定は完了です。

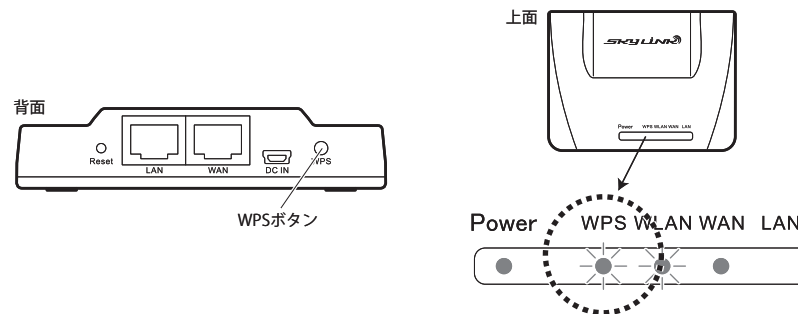
WPSボタンを使って接続する

弊社製無線アダプタなど最新の無線アダプタの多くは、WPS機能に対応しています。WPS機能を使えば、WPSボタンを押すだけで、無線LAN設定が可能です。

セキュリティ機能を使用する場合は、あらかじめセキュリティ設定が必要です
本製品は、初期値では、セキュリティ設定がされていません。セキュリティ機能を使用する場合は、最初に本製品でセキュリティ機能を設定する必要があります。P19「2.本製品のセキュリティ設定」をお読みになり、セキュリティ設定を済ませておいてください。

1 本製品と無線クライアント（無線機能を搭載したパソコン）を、確実に通信できる場所に用意します。

2 無線アダプタの説明書をお読みになり、無線アダプタ側が「WPS」機能を設定できるように準備します。

3 本製品の背面にある「WPSボタン」を2秒以上押します。

・上面にあるWPSランプが緑色に点滅し、WPS対応の無線クライアントの接続を待つ状態になります。WPSランプの点滅中に接続を完了する必要があります。

接続が完了するか、一定時間（約2分間）がすぎるとWPSランプは消灯します。

4 **無線アダプタ側のWPS用の「設定ボタン」を指定された時間だけ押します。**

・弊社製のWPS対応無線アダプタの場合は、本体の「設定ボタン」を1秒以上押します。本体に設定ボタンがないモデルでは、ユーティリティの[WPS]ボタンをクリックします。

5 **無線アダプタ側の設定ユーティリティで、本製品に接続できたことを確認します。**

・本製品のWPSランプは消灯します。

6 **Webブラウザからお好みのホームページに接続し、正常に表示されることを確認します。**

ロジテックWebサイト http://www.logitec.co.jp/

7 **これでWPS機能を使った無線クライアントの設定は完了です。**

PINコードを入力して接続する

WPS機能のPINコード方式で設定します。本製品に設定されたPINコードを無線クライアント（無線機能を搭載したパソコン）側に入力する方法と、無線クライアント側に設定されたPINコードを本製品に入力する方法があります。ここでは本製品に設定されたPINコードを無線クライアント側の設定ユーティリティに入力する場合の操作の流れを説明します。

●セキュリティ機能を使用する場合は、あらかじめセキュリティ設定が必要です
本製品は、初期値では、セキュリティ設定がされていません。セキュリティ機能を使用する場合は、最初に本製品でセキュリティ機能を設定する必要があります。P19「2.本製品のセキュリティ設定」をお読みになり、セキュリティ設定を済ませておいてください。

●本製品の設定ユーティリティに接続できる環境が必要です
PINコードを使用する場合は、本製品の設定ユーティリティに接続できる環境が必要になります。P19「本製品の設定ユーティリティへの接続について」をお読みになり、必要な環境を準備してください。

●無線クライアント側のPINコードを本製品に入力する場合
P39「WPS機能の設定」をお読みになり、本製品の〈WPS設定〉画面にある[クライアントのPINコードで設定]に、無線クライアント側のPINコードを入力し、[実行]ボタンをクリックしてください。

1 **本製品と無線クライアントを、確実に通信できる場所に用意します。**

2 **本製品の設定ユーティリティを表示します。**

・設定ユーティリティの表示方法については、P20「設定ユーティリティを表示する」を参照してください。

3 **画面左のメニューリストから[無線LAN設定]→[WPS設定]を選択し、〈WPS設定〉画面を表示します。**

4 ［PINコード］をメモします。

本製品のPINコード

5 無線アダプタの説明書をお読みになり、無線アダプタのPINコードの［設定モード］を「Registrar ※」に設定してから、本製品のPINコードを無線アダプタ側に入力します。

弊社製無線アダプタの画面例

・ご使用の無線アダプタにより、※の項目名が異なります。無線親機（無線APや無線ルータ）のPINコードを入力する方法を選択してください。

6 ［ボタンで設定］の 実行 をクリックします。

7 無線アダプタ側の設定ユーティリティで、PINコードの受信を実行します。

弊社製無線アダプタの画面例

8 設定後、無線LAN経由でインターネットにアクセスするなどして、接続できていることを確認してください。

手動設定で接続する

WPS機能を持たない無線クライアント（無線機能を搭載したパソコン）の場合は、無線アダプタ側の設定ユーティリティを使って、必要な設定を手動でおこないます。無線アダプタの説明書と、以下の作業の流れを参考にして、本製品に設定した内容を無線アダプタ側に設定してください。

1 P19「2.本製品のセキュリティ設定」をお読みになり、あらかじめ本製品のセキュリティ設定を済ませておきます。

・設定内容はメモしておいてください（→P23）。

2 セキュリティ設定が終わった本製品と無線クライアントを、確実に通信できる場所に用意します。

3 無線アダプタの設定ユーティリティを起動します。

4 接続先リストに表示される「logitecuser」を選択します。

・SSIDを自動的に検出できない場合は、手動で無線アダプタの設定ユーティリティにある「SSID」に「logitecuser」と半角英数字で入力します。

5 メモ書きしておいた本製品のセキュリティ設定の内容を、無線アダプタの設定ユーティリティにあるセキュリティまたは暗号化に関する設定画面に入力します。

・無線クライアント（無線アダプタ）側の設定方法については、無線アダプタの説明書をお読みください。

6 設定後、無線LAN経由でインターネットにアクセスするなどして、接続できていることを確認してください。

Chapter 3

詳細設定 編

1 設定ユーティリティ画面の表示

本製品の各種機能を設定するには、パソコンからWebブラウザを使って、本製品の設定ユーティリティに接続する必要があります。ここでは、本製品の設定ユーティリティへの接続方法を簡単に説明します。詳しくは、P20「設定ユーティリティを表示する」をお読みください。

本製品の設定ユーティリティへの接続について

本製品の設定ユーティリティを使用するには、設定用のパソコンをご用意いただき、パソコンのWebブラウザからアクセスする必要があります。

設定ユーティリティを表示する

パソコンからWebブラウザを使って、本製品の設定ユーティリティを表示します。

❶ Webブラウザの[アドレス]欄に、キーボードから「http://192.168.2.200」と入力し、キーボードの[Enter]キーを押します。

・認証画面が表示されます。

❷ 本製品のユーザー名とパスワードを入力し、 OK をクリックします。

ユーザー名	admin	パスワード	admin

・本製品の設定ユーティリティの画面が表示されます。

2 機器のステータス

本製品に関するさまざまなステータス情報を確認することができます。

機器のステータス画面

画面左のメニューリストから[機器のステータス]を選択します。

機器のステータス

システム	
Uptime	0day:0h:31m:58s
ファームウェア Ver.	v1.03
Build Time	Thu Aug 6 15:30:02 CST 2009
無線設定状況	
モード	AP
帯域	2.4 GHz (B+G+N)
SSID	logitecuser
チャンネル	1
暗号化	Disabled
BSSID	00:e0:4c:81:96:b1
関連クライアント数	0
MACアドレス	00:e0:4c:81:96:b1

●システム

Uptime	本製品の起動後の経過時間を表示します。電源を切ったり、再起動するとリセットされます。
ファームウェア Ver.	ファームウェアのバージョンを表示します。
Build Time	ファームウェアの作成日を表示します。

●無線設定状況

モード	現在の通信モードを表示します。本製品で使用できるモードはAP（Access Point）モードだけです。
帯域	無線LANで使用している周波数帯域と、使用中の無線規格を表示します。
SSID	現在使用中のSSIDを表示します。
チャンネル	現在のチャンネルモードを表示します。
暗号化	現在使用中の暗号化設定を表示します。
BSSID	BSSIDを表示します。
関連クライアント数	現在、本製品に接続している無線クライアントの数を表示します。
MACアドレス	本製品のLAN側のMACアドレスを表示します。

3 無線LANの設定をする

本製品の無線LAN機能を設定します。

無線LANの基本設定

画面左のメニューリストから［無線設定］→［基本設定］を選択します。

設定を変更した場合

設定を変更した場合は、必ず ［適用］ をクリックして設定を保存してください。引き続き他の項目の設定を続ける場合は ［設定に戻る］ を、変更した内容をすぐに有効にする場合は ［再起動］ をクリックし、画面のメッセージに従ってください。

●設定の内容

項目		内容
無線を無効にする		無線LANの設定をすべて無効にする場合にチェックします。チェックすると、無線LAN機能を使用できなくなります。（初期値：オフ＝無線LANが有効）
無線帯域	2.4 GHz（B）	IEEE802.11b規格だけを使用します。
	2.4 GHz（G）	IEEE802.11g規格だけを使用します。
	2.4 GHz（N）	IEEE802.11n規格だけを使用します。
	2.4 GHz（B＋G）	IEEE802.11g/11bの2規格を使用します。
	2.4 GHz（G＋N）	IEEE802.11n/11gの2規格を使用します。
	2.4 GHz（B＋G＋N）	初期値です。IEEE802.11n/11g/11bの3規格を使用します。

項目	内容
SSID	無線LANで使用するSSIDを入力します。初期値は「logitecuser」が登録されています。
チャンネル幅	11n規格でのチャンネル幅を設定します。11n対応の無線クライアントと接続する場合、「40 MHz」に設定することで伝送速度を速くすることができます。ただし、他の無線LANとの干渉などによっては、伝送速度が変わらない場合もあります。
チャンネル	使用するチャンネルを選択します。「Auto」または1〜13chの中から選択します。チャンネルの異なる複数の無線機器を使用する場合は5チャンネル以上離してください。「Auto」を選択すると、自動でチャンネルが設定されます。（例）1ch/6ch/11ch
ブロードキャストSSID	「有効」の場合は、クライアント側の設定ユーティリティなどから本製品に設定したSSIDを確認することができます。「無効」にした場合は、クライアント側の設定ユーティリティなどで、本製品のSSIDを表示できなくなります。不正アクセスを防ぐためや、SSIDを第三者に見せたくない場合などに「無効」にします。（初期値：有効）
データレート	11g/11b規格の通信における伝送速度を設定します。「Auto」に設定しておくと、通信環境にあわせて自動的に最適な速度で通信します。（初期値：Auto）
関連クライアント	［通信中のクライアントPCを表示する］をクリックすると、無線LANで接続しているクライアントのリストが別ウィンドウで表示されます。

〈通信中のクライアント〉画面について

［更新］ をクリックするとリストを最新の状態に更新します。［閉じる］ をクリックすると、〈通信中のクライアント〉画面を閉じます。

無線LANの上級者向け設定

無線LANの高度なオプション機能を設定できます。これらの設定には無線LANに関する十分な知識が必要です。

 画面左のメニューリストから[無線設定]→[上級者向け設定]を選択します。

設定を変更した場合

設定を変更した場合は、必ず [適用] をクリックして設定を保存してください。引き続き他の項目の設定を続ける場合は [設定に戻る] を、変更した内容をすぐに有効にする場合は [再起動] をクリックし、画面のメッセージに従ってください。

●詳細設定　各項目の数値に指定可能な範囲がある場合は、数値の右側にカッコで表示しています。

項目	説明
フラグメントしきい値	フラグメントしきい値を設定します。パケットが設定サイズを超えた場合に分割して送信します。（初期値：2346）
RTS しきい値	本製品がRTS（送信要求）信号を送信するパケットサイズを設定します。（初期値：2347）
ビーコン間隔	本製品が送信するビーコンフレームの送信間隔を設定します。（初期値：100）
プリアンブルタイプ	無線通信の同期をとるプリアンブル信号の種類（長さ）を選択します。「Short Preamble」のほうが伝送速度を速くすることができます。ただし、古いタイプの無線クライアントを使用する場合などは、互換性を確保するために「Long Preamble」を選択します。（初期値：Long Preamble）
送信パワー	電波の出力強度を調整できます。電波が遠くまで飛びすぎる場合に、環境にあわせて強度を設定します。（初期値：100%）

アクセスコントロールの設定（MACアドレスフィルタ）

登録したMAC アドレスを持つ無線クライアントとだけ無線LANで通信できるようにします。第三者の無線クライアントからの不正アクセスを防止するのに役立ちます。

 左のメニューリストから[無線設定]→[アクセスコントロール]を選択します。

設定を変更した場合

設定を変更した場合は、必ず [適用] をクリックして設定を保存してください。引き続き他の項目の設定を続ける場合は [設定に戻る] を、変更した内容をすぐに有効にする場合は [再起動] をクリックし、画面のメッセージに従ってください。

●入力・設定画面の内容

項目	説明
無線アクセスコントロール機能	「有効」を選択している場合に、[無線アクセスコントロールリスト]に登録したMACアドレスを持つクライアントだけが無線LANで接続できます。
MACアドレス	本製品に無線LANでアクセスすることを許可するクライアントのMACアドレスを入力します。
メモ	自由にコメントを入力できます。登録したクライアントを区別するのに便利です。

●無線アクセスコントロールリスト

登録内容をリストで表示します。

項目	説明
MACアドレス	本製品に無線LANでアクセスすることを許可するクライアントのMACアドレスです。
メモ	入力したコメントを表示できます。
選択	登録内容を消去する場合にチェックします。

●各ボタンの機能

選択したものを削除	［選択］をチェックしたクライアントをリストから消去します。このボタンをクリックすると確認の画面が表示されますので、OK をクリックしたあと、再起動 をクリックします。
全て削除	リストのクライアントの設定をすべて消去します。このボタンをクリックすると確認の画面が表示されますので、OK をクリックしたあと、再起動 をクリックします。
キャンセル	［選択］のチェックをすべてクリアします。

クライアントの登録方法

❶［無線アクセスコントロール機能］で［有効］を選択します。
❷ クライアントのMACアドレスを入力します。「:」で区切る必要はありません。
例 1234567890ab
❸ クライアントを区別するための名称など、コメントを自由に入力することができます。
❹ 適用 をクリックすると、「設定は変更されました」と表示され、カウントが表示されます。カウントが0になると、自動的に〈無線アクセスコントロール〉画面に戻ります。
・ 無線アクセスコントロールリストに無線クライアントが追加されます。
❺ 登録するクライアントが複数ある場合は、❶〜❹を繰り返します。

WPS機能の設定

WPS（Wi-Fi Protected Setup）機能の設定をします。本製品は初期値では「セキュリティ設定なし」です。セキュリティ機能を使用する場合は、あらかじめセキュリティ機能を設定しておく必要があります。

画面左のメニューリストから［無線設定］→［WPS設定］を選択します。

設定を変更した場合
設定を変更した場合は、必ず 適用 をクリックして設定を保存してください。引き続き他の項目の設定を続ける場合は 設定に戻る を、変更した内容をすぐに有効にする場合は 再起動 をクリックし、画面のメッセージに従ってください。

●WPS設定

WPSを無効にする	WPS機能を無効にする場合にチェックします。（初期値：オフ）
WPSステータス	現在のWPS設定の状態を表示します。
未設定に戻す	WPS設定を初期値に戻します。
PINコード	本製品のPINコードを表示します。
ボタンで設定	実行 をクリックすることで、WPS機能を実行できます。本製品の本体に装備された「WPS設定ボタン」を押すのと同じことです。
現在の設定	現在のセキュリティ設定の状態を表示します。
クライアントのPINコードで設定	本製品側で無線アダプタのPINコードにあわせる場合に、ここに無線アダプタ側のPINコードを入力し、実行 をクリックします。

4 セキュリティを設定する（無線の暗号化）

無線LANで使用するデータの暗号化などのセキュリティの設定方法について説明します。

本製品で設定可能なセキュリティ機能

WEP	無線LANの普及期からある暗号化方式です。本製品は64bitと128bitの2種類の暗号強度が選択できます。ご利用の無線LAN環境でWPA-PSKまたはWPA2-PSKが使用可能な場合は、そちらを使用することをお勧めします。
WPA-PSK WPA2-PSK	新しいセキュリティである「WPA」を使用します。本製品では、WPA-PSK（TKIP）とWPA2-PSK（AES）が使用できます。
WPA2-Mixed	WPA-PSK（TKIP）とWPA2-PSK（AES）の混在環境に対応します。

WEPの設定

無線通信の暗号化セキュリティに「WEP」を使用します。

画面左のメニューリストから[無線設定]→[セキュリティ設定]を選択します。

◆WEP選択時の設定画面

ここをチェックすることで、現在のパスワードを表示できます。

設定の手順

本製品および本製品に接続する、すべての無線クライアントは、各項目の設定値がすべて同一になっている必要があります。設定が一部でも異なっていると無線LANを利用できません。

1 [暗号化]で、[WEP]を選択します。

2 認証方式を選択します。

・わからない場合は「Auto」を選択します。

3 [キー長]でセキュリティ強度を選択します。通常は128bitを選択します。

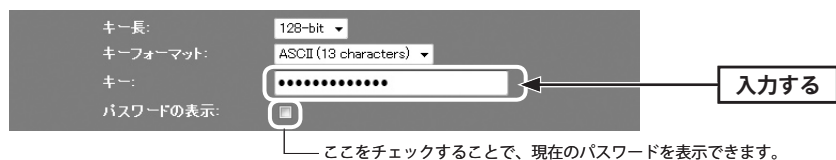
ご使用になる無線クライアントが64bitにしか対応していない場合などは、64bitを選択します。ご使用になる無線クライアントに1台でも64bitにしか対応していないものがある場合は、64bitしか使用できません。なお、64bitはセキュリティ性が低くお勧めできませんので、なるべく使用しないでください。

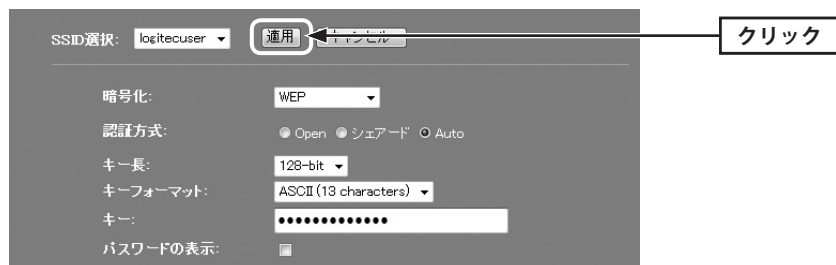
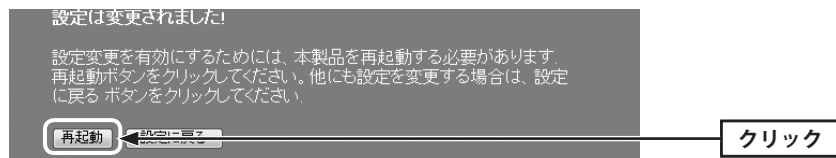
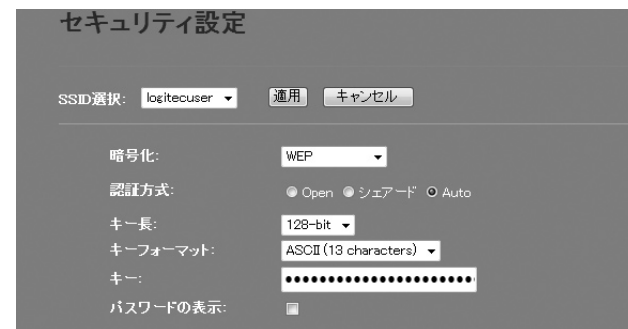
4 [キーフォーマット]で暗号化キーの入力形式を選択します。

・ここで選択した形式の文字列で暗号化キーを設定します。

ASCII（5文字）	キー長で64bitを選択した場合です。[暗号化キー]に、半角英数字5文字を入力します。
ASCII（13文字）	キー長で128bitを選択した場合です。[暗号化キー]に、半角英数字13文字を入力します。
Hex（10文字）	キー長で64bitを選択した場合です。[暗号化キー]に、16進数10文字を入力します。
Hex（26文字）	キー長で128bitを選択した場合です。[暗号化キー]に、16進数26文字を入力します。

※16進数とは、0〜9、a-fを組み合わせた文字列です。

5 手順 **4** で選んだ入力形式で、暗号化キーを入力します。

・ASCIIの場合は大文字と小文字が区別されます。Hexの場合は大文字と小文字は区別されません。

6 すべての設定が終われば 適用 をクリックします。

7 「設定は変更されました！」と表示されます。再起動 をクリックします。

8 「設定は変更されました」と表示され、カウントが表示されます。
カウントが0になると、自動的に〈セキュリティ設定〉画面に戻ります。

9 これで本製品のWEPによるセキュリティ設定は完了です。同じ設定を無線クライアント側にも設定してください。

・無線クライアント側の設定方法は、無線クライアントの説明書をお読みください。

WPA-PSK/WPA2-PSKの設定

WPA-PSK（TKIP）またはWPA2-PSK（AES）を使ってセキュリティ設定をします。WPA2-PSK/WPA-PSKは、小規模なネットワークでも安全度の高いセキュリティを簡単に実現できます。設定にあたっては、あらかじめ「共有キー」を決めておいてください。

本製品および本製品に接続する、すべての無線クライアントは、各項目の設定値がすべて同一になっている必要があります。設定が一部でも異なっていると無線LANを利用できません。

画面左のメニューリストから［無線設定］→［セキュリティ設定］を選択します。

◆WPA2-PSK選択時の設定画面

ここをチェックすることで、現在のパスワードを表示できます。

1 ［暗号化］で、［WPA-PSK］、［WPA2-PSK］または［WPA2-Mixed］を選択します。

WPA-PSK	WPA-PSKを使用します。［WPA暗号スイート］は、自動的に「TKIP」になります。「AES」は選択できません。
WPA2-PSK	WPA2-PSKを使用します。［WPA2暗号スイート］は、自動的に「AES」になります。「TKIP」は選択できません。
WPA2-Mixed	無線クライアントにWPA-PSK（「AES」または「TKIP」）とWPA2-PSK（「AES」または「TKIP」）が混在している場合でも、いずれの無線クライアントとも接続できます。また、無線クライアントがすべて「WPA2-PSK（TKIP）」の場合も、こちらを選択します。

2 ［共有キーフォーマット］で、共有キーの入力形式を選択します。

Passphrase	半角英数字（8〜63文字）を使用できます。大文字と小文字が区別されます。
HEX（64 characters）	16進数64文字（固定）を使用できます。大文字と小文字は区別されません。

※16進数とは、半角英数字の0〜9、a-fを組み合わせた文字列です。

3 ［共有キー］に、手順 2 で選択した入力形式で文字列を入力します。

ここをチェックすることで、現在のパスワードを表示できます。

4 **すべての設定が終われば ［適用］ をクリックします。**

5 **「設定は変更されました！」と表示されます。［再起動］ をクリックします。**

6 **「設定は変更されました」と表示され、カウントが表示されます。**

カウントが0秒になると、自動的に<セキュリティ設定>画面に戻ります。

7 **これで本製品のWPAによるセキュリティ設定は完了です。同じ設定を無線クライアント側にも設定してください。**

・無線クライアント側の設定方法は、無線クライアントの説明書をお読みください。

5 LAN側の設定をする

本製品のLAN（ローカルネットワーク）側のIPアドレス情報等を設定します。

画面左のメニューリストから［有線設定］を選択します。

IPアドレスの設定

設定を変更した場合

設定を変更した場合は、必ず ［適用］ をクリックして設定を保存してください。引き続き他の項目の設定を続ける場合は ［設定に戻る］ を、変更した内容をすぐに有効にする場合は ［再起動］ をクリックし、画面のメッセージに従ってください。

項目	説明
装置のIPアドレス	本製品のLAN側のIPアドレスです。 初期値は「192.168.2.200」です。
サブネットマスク	使用中のネットワークのサブネットマスクを入力します。 初期値は「255.255.255.0」です。
デフォルトゲートウェイ	インターネットなどLANから外部へ接続する場合にデフォルトゲートウェイを設定します。インターネットに接続する場合、ルータのLAN側IPアドレスを入力します。

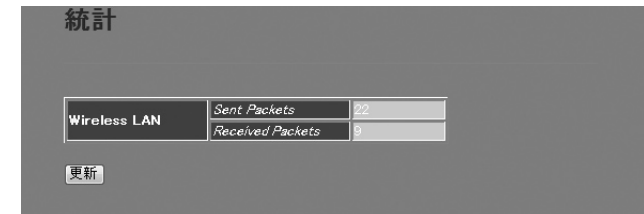
6 ログの表示

ログ 画面

本製品のシステムログを記録することができます。

ログ機能を有効にする	この項目をチェックすると、ログの取得を有効にします。 （初期値：オフ＝ログを取得しない） 有効にした場合は、ログの取得内容を選択します。 システムログ：システム全体のログを取得します。 無線ログ：無線LANに関するログのみを取得します。
適用	上記項目の設定を変更した場合にクリックします。 画面のメッセージに従って変更内容を保存してください。
更新	ログの内容を更新します。
キャンセル	記録されているログを消去します。

7 統計

統計 画面

Wireless LAN	本製品から見た無線LANにおける、パケット送信数（Sent Packets）と受信パケット数（Received Packets）を表示します。

8 ファームウェアの更新

ファームウェア更新 画面

機能の充実や改良により、本製品のファームウェアをバージョンアップすることがあります。ファームウェアは、弊社Webサイトのサポートページよりダウンロードできます。

左のメニューリストから[ファームウェア更新]を選択します。

ファームウェアの更新手順

❶ 弊社Webサイトなどからあらかじめ最新のファームウェアをダウンロードして、デスクトップなどに保存しておきます。
・ ダウンロード前に注意事項などがないか、ダウンロードページでご確認ください。
❷ 参照 をクリックします。

❸〈ファイルの選択〉画面が表示されますので、ダウンロードしたファイルを指定します。
❹ 適用 をクリックします。
❺ アップデートを確認するメッセージが表示されますので、 OK をクリックします。
❻ アップデート中の注意事項が表示されますので内容を確認のうえ、 OK をクリックします。
❼ アップデートが完了すると「アップデートが完了しました。」と表示されます。
❽ 本製品背面にあるDCジャックからDCプラグを抜き差しして電源を入れ直します。
本製品が再起動し、新しいファームウェアで動作するようになります。

9 設定情報の保存と初期化

設定保存/読込 画面

本製品の設定情報をファイルとして保存できます。保存したファイルを読み込むことで、本製品の状態を、設定情報を保存した時点の状態にすることができます。また、本製品の設定内容を初期値(工場出荷時の状態)に戻すことができます。

画面左のメニューリストから[設定保存/読込]を選択します。

設定の保存方法

設定を保存: 保存...

❶ 保存 をクリックします
❷〈ファイルのダウンロード〉画面が表示されますので、 保存 をクリックします。
❸〈名前を付けて保存〉画面が表示されますので、ファイルの保存場所を指定し、 保存 をクリックします。指定した場所に「config.dat」ファイルが保存されます。
❹〈ダウンロードの完了〉画面が表示されますので、 閉じる をクリックします。〈設定保存/読込〉画面に戻ります。

設定の読み込み方法

保存した設定を読込:　C:¥Users¥tester¥Deskt　参照...　読込

❶［保存した設定を読込］の 参照 をクリックします
❷〈アップロードするファイルの選択〉画面が表示されますので、設定ファイルを指定します。
❸ 読込 をクリックします。
❹ しばらくすると「更新されました！」と表示され、カウントが表示されます。
カウントが0になると、自動的に〈機器のステータス〉画面が表示されます。

設定を初期化する（工場出荷時の状態に戻す）

本製品の設定を初期化（工場出荷時の状態に戻す）します。ご購入後に変更した設定はすべて初期値に戻ります。必要に応じて初期化の前に設定をファイルに保存してください。

初期化:　初期化実行

❶［初期化］の 初期化実行 をクリックします。
❷ 工場出荷時の状態に戻してよいか、確認のメッセージが表示されますので OK をクリックします。
❸ しばらくすると「Reload setting successfully!」と表示され、カウントが表示されます。
カウントが0になると、自動的に〈機器のステータス〉画面が表示されます。

10 ユーザー名とパスワードの設定

パスワード設定 画面

本製品の設定ユーティリティにログインするための、ユーザー名とパスワードを設定/変更します。

左のメニューリストから［パスワード設定］を選択します。

●パスワードの変更をお勧めします
設定ユーティリティの無線LAN設定にある「セキュリティ設定」には、無線LAN用に設定したパスワードを表示できる機能があります。設定ユーティリティのパスワードが初期値のままだと、初期値でログインしてパスワードを自由に確認することができます。設定ユーティリティのログインパスワードの変更をお勧めします。

●変更後のユーザー名とパスワードを忘れないでください
変更後のユーザー名とパスワードを忘れると、本製品を初期化する必要があります。すべての設定が初期化されますので、ユーザー名、パスワードは忘れないようにしてください。

設定の手順

❶［ユーザ名］に、新しく設定するユーザー名を入力します。
❷［パスワード］に、新しく設定するパスワードを入力します。
❸［新パスワード再入力］に、もう一度、新しいパスワードを入力します。
❹ 適用 をクリックします
❺「設定は変更されました」と表示され、カウントが表示されます。
カウントが0になると、自動的に認証画面が表示されます。
❻ 新しく設定したユーザー名とパスワードを入力し、OK をクリックします。
・〈機器のステータス〉画面が表示されます。

11 ログアウト

ログアウト 画面

設定ユーティリティからログアウトします。1台のパソコンを複数のユーザーで使用している場合、ログインしたままだと、他の人が設定ユーティリティにアクセスすることができます。設定終了後もパソコンを起動しておく場合は、必ずログアウトしてください。

画面左のメニューリストから[ログアウト]を選択します。

ログアウト

ログアウト

ログアウトの手順

❶ ログアウト をクリックします
❷ 認証画面が表示されます。
・ 再度ログインしたいときは、ユーザー名とパスワードを入力し、OK をクリックします。

Appendix

付録編

1 こんなときは

無線LAN関係のトラブル

●無線LANがつながらない。

①ネットワーク設定で実際のネットワーク環境に応じたプロトコル、サービスなどの設定をしていますか？　プロトコル（TCP/IPなど）、クライアント（Microsoft Networkクライアントなど）、サービス（Microsoft Network共有サービスなど）を環境に応じて設定する必要があります。

②本製品のセキュリティ設定やMACアドレスフィルタリング（アクセスコントロール）設定は正しいですか？　セキュリティ設定は、無線LANネットワーク上にあるすべての機器で同じ設定にする必要があります。また、MACアドレスフィルタリングを設定していると、設定条件によっては無線LANに接続できない場合があります。

●セキュリティ機能を設定後に無線LANがつながらない。

①セキュリティ設定は、同じ無線LANネットワーク上にあるすべての機器で同じ設定になっている必要があります。設定が少しでも異なる機器はネットワークに接続することができません。

②各セキュリティ機能で使用するパスワードや暗号などの文字列は大文字と小文字が区別されたりします。また、意味のない文字列は入力ミスが発生しやすいので特に注意して確認してください。

◆セキュリティ設定でのトラブルのほとんどがスペルミスや設定ミスですのでよく確認してください。

③設定を変更した直後や設定が正しい場合は、すべての機器の電源を入れ直してから接続してみてください。

●WPSがつながらない。

①WPSランプが速く点滅している場合は、エラーが発生している可能性があります。もう一度初めからやりなおしてください。繰り返し接続に失敗するようであれば、他の接続方法を試してみてください。

②入力したPINコードが誤っていることがあります。再度PINコードを自動生成して接続してください。繰り返し接続に失敗するようであれば、他の接続方法を試してみてください。

共通のトラブル

●本製品の設定は正常に終了したが、ネットワークパソコンを開くと「ネットワークを参照できません。」のエラーが表示される。

①正常にネットワークの設定ができていない可能性があります。もう一度、デバイスマネージャなどで本製品の設定を確認し、OS側が本製品を正常に認識しているか調べてください。

●他のパソコンのファイルやプリンタの共有ができない。

①ネットワーク設定をしましたか？
無線LANが正常に動作していてもネットワーク設定ができていないとファイルの共有やプリンタの共有はできません。

2 パソコンのIPアドレスの確認方法

本製品の設定ユーティリティにアクセスできない場合に、本製品の設定ユーティリティにアクセスするパソコンのIPアドレスがどのようになっているかを確認する方法を説明します。
ここで説明しているIPアドレスの確認方法は、本製品に接続する有線および無線クライアントのIPアドレスを確認するときにも使用できます。

パソコンのIPアドレスを表示する

Windows 7/Vistaの場合

❶ ［スタート］→［すべてのプログラム］→［アクセサリ］→［コマンドプロンプト］の順にクリックします。

❷ 〈コマンドプロンプト〉画面が表示されます。「>」のあとにカーソルが点滅している状態で、キーボードから「ipconfig」と入力し、［Enter］キーを押します。

```
Microsoft Windows [Version 6.0.60000]
Copyright (c) 2006 Microsoft Corporation.  All rights reserved.

C:Users¥master>ipconfig
```

※入力する文字は半角英数字です。入力ミスをした場合は、［BackSpace］キーを押して間違った文字のところまで削除して戻ります。このとき、途中の文字だけを削除することはできません。
「"xxx"は、内部コマンド･･･」と表示された場合は、入力ミスです。もう一度入力してください。

❸「イーサネット　アダプタ　ローカル　エリア接続※」の「IPv4アドレス」に現在のIPアドレス「192.168.xxx.xxx」が表示されます（xxxは任意の数字）。

```
イーサネット　アダプタ　ローカル　エリア接続：


接続固有の DNS サフィックス . . . :
リンクローカル IPv6 アドレス. . . . : fe80::b0ac:15cf:beb9:d431%8
IPv4 アドレス . . . . . . . . . . : 192.168.2.100
サブネット マスク . . . . . . . . : 255.255.255.0
デフォルト ゲートウェイ . . . . . : 192.168.2.1
```

※本製品に接続しているクライアントの種類によって表記は異なります。

Windows XP/2000の場合

❶ ［スタート］→［（すべての）プログラム］→［アクセサリ］→［コマンドプロンプト］の順にクリックします。

❷ 〈コマンドプロンプト〉画面が表示されます。「>」あとにカーソルが点滅している状態で、キーボードから「ipconfig」と入力し、［Enter］キーを押します。

```
コマンド プロンプト
Microsoft Windows XP [Version 5.1.2600]
(C) Copyright 1985-2001 Microsoft Corp.

C:¥Documents and Settings¥main-user>ipconfig
```

※入力する文字は半角英数字です。入力ミスをした場合は、［BackSpace］キーを押して間違った文字のところまで削除して戻ります。このとき、途中の文字だけを削除することはできません。
「"xxx"は、内部コマンド･･･」と表示された場合は、入力ミスです。もう一度入力してください。

❸「イーサネット　アダプタ　ローカル　エリア接続※」の「IP Address」に現在のIPアドレス「192.168.xxx.xxx」が表示されます（xxxは任意の数字）。

```
Windows IP Configuration


Ethernet adapter ローカル エリア接続:

        Connection-specific DNS Suffix  . :
        IP Address. . . . . . . . . . . . : 192.168.1.145
        Subnet Mask . . . . . . . . . . . : 255.255.255.0
        Default Gateway . . . . . . . . . : 192.168.1.254
```

※本製品に接続しているクライアントの種類によって表記は異なります。

3 基本仕様

無線LAN部

規格	IEEE802.11g/IEEE802.11b/ARIB STD-T66
周波数帯域	2.412〜2.472GHz（中心周波数）
チャンネル	1〜13ch
伝送方式	11n：OFDM方式　11g：OFDM方式　11b：DS-SS方式
データ転送速度（理論値）	11n適用時：最大150Mbps（MIMO使用時） 11g：54/48/36/24/18/12/9/6Mbps　11b：11/5.5/2/1Mbps
アクセス方式	インフラストラクチャ（親機）
アンテナ方式	基板アンテナ1本
セキュリティ	SSID（ステルス設定可）、マルチSSID、WEP64/128ビット、WPA-PSK（TKIP）、WPA2-PSK（AES）、MACアドレスフィルタリング
設定方式	WPS（ボタン搭載）

WAN/有線LAN部

規格	IEEE802.3u（100BASE-TX）、IEEE802.3（10BASE-T）、 IEEE802.3x（Flow Control）
コネクタ	RJ-45×2ポート
Auto MDI/MDIX	対応
オートネゴシエーション	対応

一般仕様

消費電力（定格）	2.4W
外形寸法	幅94×奥行70×高さ20.8mm
質量	約70g

IEEE802.11n/11g/11b準拠 無線LANアクセスポイント　LAN-W150N/AP
ユーザーズマニュアル

発行

2010年2月26日　第1版